

ふれあい通信



2021
10月号

認知症対応型から一般型へ デイサービスふれあいがリニューアルオープン



Shall we fun?

「デイサービスふれあい」が一般型通所介護として10月1日に移転リニューアルオープンしました。当グループが持つ医療・介護・福祉・保健のネットワークを活用し、科学的根拠にのっとったエクササイズやレクリエーションなどを提供します。グループ内の多職種と連携し、ご利用者が個性を發揮し、自分らしい生活が送れるようにサポートさせていただきます。

「Shall we fun?～楽しんでますか～」を合言葉に、ご利用者の人生が豊かなものになるよう支援していきます。

デイサービスふれあいが リニューアルオープンしました



これまで認知症対応型通所介護を行ってきた「デイサービスふれあい」でしたが、今回移転に伴い面積を拡大し、一般型通所介護として10月1日にリニューアルオープンしました。ご利用者一人ひとりが自分らしく余生を過ごせるよう日常生活の快適性とさまざまなアクティビティーで人生の楽しみを提供します。当グループが持つ医療・介護・福祉・保健の統一的ネットワークによる知見や技術を最大限に活用し、当デイサービスでは科学的かつ論理的でありながら全人的なサービスを実現していきます。

デイサービスふれあいの **基本理念**

毎日楽しく
生きることを誇らしく
そして自分らしく
Shall we fun?

余生を日々穏やかにそして楽しく
生きていることに負い目を感じることなく、
今までの人生に誇りをもって
そしてなによりもご自身らしさのなかで生きていくこと
デイサービスふれあいでは、
Shall we fun?～楽しんでますか～と
自信をもって問いかけられるよう、
皆様の人生を支援してまいります



デイサービスふれあい

〒214-0038 神奈川県川崎市多摩区生田3-18-2 アボードベア1F
TEL 044-328-9150 FAX 044-328-9151

多職種と連携し、自分らしい生活が
送れるようサポートします

これまで「たまふれあいの家」にて認知症対応型通所介護を行ってまいりました。このたび、縁あって生田の府中街道の近くに広い場所を借りられることになり、10月1日から一般型通所介護を開設いたしました。定員12名の認知症対応型通所介護から定員20名の一般型通所介護に大きく変わります。

これまではご利用者全員で共通の体操やレクリエーションを行うことが多かったのですが、今後は多職種と連携し、ご利用者一人ひとりに合ったエクササイズを提供します。ご利用者が個性を發揮し、自分らしい生活が送れるようにサポートさせていただきます。

今まで行ってきたデイサービスの内容は引き続き行いながら、レッドコードや認知症予防の運動機器、ご利用者専用のパソコンなどを導入し「ふれあいに行く」と元気になる「ふれあいは楽しい」と言っていただけようスタッフ一同努めてまいります。近隣の皆様には送迎などでご迷惑をお掛けしてしまふこともあるかと思いますが、お気軽にデイサービスを見にきていただけたらと思います。



デイサービス管理者
馬場 友美

食事



当グループの管理栄養士が献立を検討し、栄養素が十分であることはもちろんのこと「おいしい食事」にこだわり提供します。

お米は宮城の農家より玄米を仕入れ、当事業所で精米。毎日炊き立てのご飯を召し上がっていただけます。みそ汁はできるだけ地域の野菜を取り入れ、毎日当事業所の厨房で調理します。煮物などのクックチル*が得意とするメニューは積極的にクックチルを利用し、揚げ物などは当グループの調理員がイベント食として調理します。

*クックチル:加熱調理した食品を急速冷却し、喫食時間に合わせて再加熱し提供する調理システム。味を損なわず5日間の保存が可能。



入浴

ご利用者一人ひとりの身体機能に合わせて、3つの浴槽を設置、脱衣室はプライバシーを守るために広い空間を確保しました。ゆったりと気持ちが癒やされる時間を提供します。

り、ゆったりと入浴していただく。そんな生活の基本を大切にしていきます。

調理レクリエーション

調理レクリエーションは協力して食事を作る楽しみだけでなく、認知症の予防や改善に役立つ側面があります。今回、専用のキッチン台を設置、麻痺がある方でも使える調理器具を用意し、多くの方に参加してもらえ環境を整えました。

毎日の生活を楽しむ

「高齢の方から「生きていてもつまらない」「なにも楽しみがない」といった言葉を聞くことは少なくありません。当デイサービスでは趣味として楽しみながら継続できるアクティビティーを提供します。



パソコン

ご高齢の方でも「パソコンが趣味」という方は増えてきています。ご利用者が自由に使える、囲碁や将棋などのアプリをインストールしたパソコンを用意しています。

日々の生活の基本を整える

私たちが自分らしく生きていくためには、まずは衣食住の基本的な生活が充実していることが重要です。おいしい食事を召し上が



学会発表

グループホームへの管理栄養士の関わり方

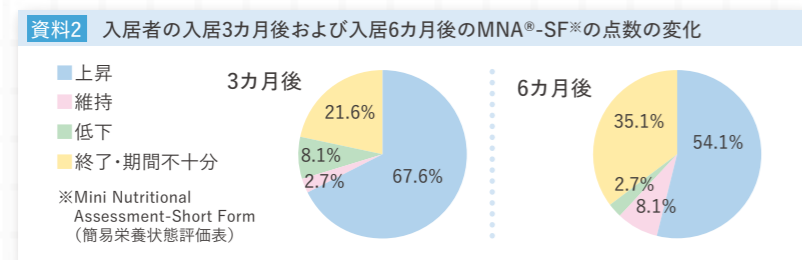
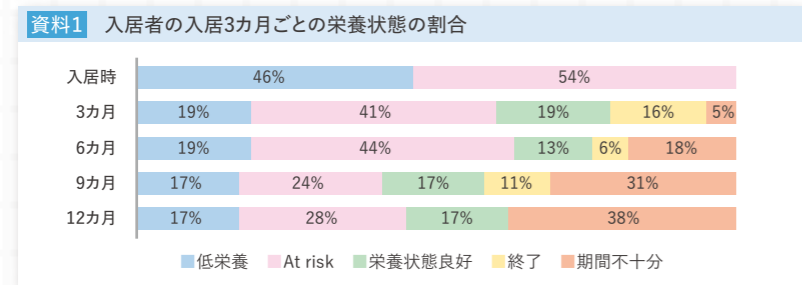
管理栄養士 **内村 三幸** さん



管理栄養士の内村が「第8回日本在宅栄養管理学会WEB学術集会」で発表しました。

入居者の6割の栄養状態が改善
 当グループホームの開設1年が経過し、入居者様の栄養状態について管理栄養士からの視点で観察、分析しました【資料1・2】。
 ご自宅で過ごされている高齢者の多くは、バランスよく必要な栄養量を摂取することが困難です。入居時の栄養状態は全員「低栄養」または「低栄養のリスクあり」でした。しかしグループホームに入居すると生活のリズムが整い、食事が3食提供されるので、6割以上の方は栄養状態が改善しました。
 一方で、グループホームへの入居は自宅生活と生活環境が変わるため大きなストレスとなり、食事が低下したり、体調を崩されたりすることがあります。入居者様の状態を把握し、食事形態の調整や

栄養管理体制加算が新設
 2021年度から、グループホームにおいて管理栄養士が日常的な栄養ケアに関わる介護職員への技術的助言や指導を行う「栄養管理体制加算」が新設されました。しかし、ほとんどのグループホームでは管理栄養士は所属しておらず、介護職員が栄養について相談できる機会が少ないというのが現状です。
 一方で、2020年6月に開設した当法人のグループホーム「たまふれあいグループホーム登戸新町」では管理栄養士はもちろんのこと、医師・看護師をはじめ理学療法士や作業療法士、言語聴覚士などのリハビリスタッフが入居者様の健康管理に関わっています。



生活環境の整備をして体調の悪化を防ぐことが大切です。
グループホームに管理栄養士を
 高齢者の身体的機能の変化や疾患に合わせた食事を提供することで、入居者様の健康維持増進だけでなく、施設職員の不安解消にもつながることができます。今回の栄養管理体制加算の新設により、グループホームに入居している方の栄養状態にも関心が高まることを期待しています。

たまふれあいグループ サービスの空き状況 (2021年10月1日現在)

記号の見方 ◎十分空きあり ○空きあり △残りわずか ▲要相談(待機者少ない) ×空きなし

訪問診療	訪問看護 ST	訪問リハビリ			居宅介護支援事業所	たまふれあいの家				たまふれ!		
		PT	OT	ST		デイサービス	看多機	グループホーム 枳形	グループホーム 登戸新町	障害者計画相談支援	障害者就労継続支援B型	障害者就労移行支援
◎	▲	△	△	△	○	◎	◎	▲	▲	▲	○	○

多様な症状・医療処置対応

胃・腸ろう／経鼻胃管／気管切開／喀痰吸引／TPN管理／バルン・ストマ／重度褥瘡／呼吸器管理 ほか

地域相談室直通電話番号

044-931-0220

ご相談・お問い合わせいつでもお待ちしております

コグニサイズ

コグニサイズとはコグニション(認知)とエクササイズ(運動)を組み合わせた造語です。頭で考えるコグニション課題と身体を動かすエクササイズ課題を同時に行うことで、脳と身体の機能を効果的に向上させることを目指します。

当デイサービスではコグニサイズを行える「コグニバイク」を導入しました。自転車こぎ運動をしながら、目の前のタブレットに表示される質問に答える器具で、認知機能のトレーニングを安全かつ効果的に、そして楽しく行うことができます。



脳トレーニング

パソコンやタブレットパソコンで脳トレーニングを楽しむことができます。集団でのアクティビティーが苦手な方でも、一人で楽しみながら認知症予防ができる環境を整えています。



当グループは医療機関であることから、最新の論理に基づいた楽しくできるアクティビティーを提供します。



認知症を予防、悪化させない

レッドコードエクササイズ

天井からつるされた「レッドコード」と呼ばれる赤いロープを利用したエクササイズで、レッドコードで身体を支えることで痛みや無理のないポジションを確保し、ご利用者の体調や身体の機能に応じた負荷を設定することができます。



リハビリ機器



ダイエットトレーナー コア

関節や靭帯への負担が少ない細かい垂直振動による刺激で、全身や各部位をエクササイズできる機器です。加齢による筋肉の衰えを補うことで転倒防止の効果が期待できます。



セラバイタル ティーゴ

回転ペダルにより上肢と下肢の他動運動から抵抗運動まで幅広く利用できる機能回復・運動療法機器です。車いすに座った状態でのトレーニングが可能です。

運動機能を維持して意欲を保つ

人は身体を動かせなくなると意欲が低下し、さらに運動しなくなることで、転倒骨折や認知症の進行につながります。当デイサービス

では機能訓練指導員による指導のもと、楽しみながら無理なく運動し、体力と意欲の向上を目指します。

就労移行支援 たまフレ!で

生活訓練事業がスタート

仕事はできても、社会人として問題があると仕事を続けることができません。
「たまフレ!」では、働き続けるために必要な基本的なスキルの習得に向けて
訓練する生活訓練事業を10月から開始しました。

仕事ができるAさんが
退職することになった理由

2年前、たまフレ!から就職したAさん。職場での作業評価は高く優秀でした。しかし職場からは退職を求められています。なぜでしょうか。

実はAさんは無断欠勤が3回以上あり、遅刻も多く改善が見られませんでした。また給与を2日でアイドルグッズに使ってしまった、通勤定期も買えなくなってしまうこともあり、このように仕事が進んでいってきても、社会人として問題があれば仕事を続けることができません。Aさんについて退職することになりました。とても残念なことです。



たまフレ! 所長
山口 竜

働くための
基礎を学ぶ重要性

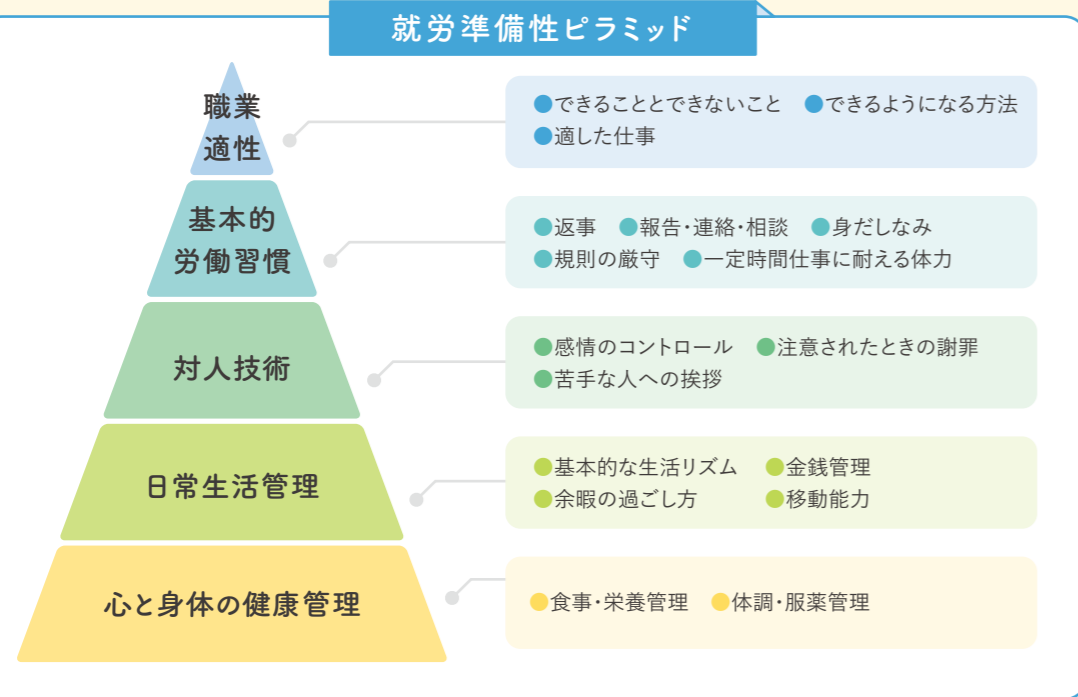
どうすればAさんは仕事を続けられたのでしょうか。それは、就職する前に社会性を身に付ける必要があったように思われます。

毎日、夜遅くまでゲームをしていれば、朝起きられなくて遅刻します。遅刻したり休んだりすることは多くの人に迷惑を掛けることも理解する必要があります。計画なく給与を使い果たしてしまうと、通勤のための交通費がなくなると、会社に行けなくなります。

このようなことにならないためには、就職する前に、お金の使い方や生活リズムの整え方などの、働くための基礎を学ぶことが大切だと考えています。



たまフレ!の生活訓練



これは「就労準備性ピラミッド」という就職に必要なスキルを表したものです。働く、働き続けるためにはこれら5つの能力が必要となります。たまフレ!では、この基礎部分を訓練する「自立訓練(生活訓練)事業」を10月から開始しました。期間は最長2年間です。

自立訓練とは、障害者総合支援法に定められた「指定障害福祉サービス」のひとつで、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、定める期間において、身体機能や生活能力の向上のために必要な訓練を行うことです。

生活訓練とは、生活能力の向上のために必要な訓練です。例えば「病院を退院したが、一人で生活を送れるか不安」「生活リズムを整えたい」「働いて将来は自立したい」など、生活に対する不安や課題がある方を支援します。

主な訓練の内容

- 挨拶・返事 挨拶・返事はなぜ必要なのか。意味や役目について場面を想定しながら学ぶ。
- 法律・ルール 社会・会社・町内会などのルールがなぜ必要かを学ぶ。
- 健康・運動 通院・服薬・食事・運動・睡眠など健康の自己管理について学ぶ。
- 趣味・金銭管理 余暇や休憩時間の過ごし方や金銭管理について学ぶ。
- 伝える力 報告・連絡・相談について具体的な事例紹介やロールプレイングで学ぶ。



お問い合わせ先

就労移行支援
たまフレ!
Tama Hurray!

044-930-1177

受付時間 9:00~18:00(土・日・祝日を除く)
〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸2519-1 ヨシザワ10ビル4F

全力×相談員

フジタがゆく!

地域相談室 相談員 藤田 杏



ご利用者に寄り添い、
責任感を持って取り組む
作業療法士
しんば ひろし
榛葉 寛さん

こんにちは! 相談員のフジタです♥

多職種連携感謝セミナー「落語家 林家たい平師匠 WEB講演会」を
たくさんの方にご視聴いただき、ありがとうございました♪
ご感想やご要望など、ぜひぜひ皆様のご意見をお聞かせください!
同封のアンケートへのご回答もお待ちしております♥

今回のインタビューは、作業療法士の榛葉に密着取材しました!

横浜生まれの横浜育ちという浜っ子の榛葉。「ご利用者の
思いに寄り添うこと、責任感を持って取り組むこと」を信条
とする熱い男です。

これまで病院や老健で17年以上務めた経験を持っており、リハ部門では後輩からも慕われ頼れる存在です。
「訪問リハビリでは、仕事の自由度が高く難しいことも
多々あるが、ご本人やご家族の希望や思いに寄り添いや
すく、やりがいも大きい」と語ります。

そんな榛葉の趣味は食べ歩きや旅行、ハイキング(最近は
弘法山、高尾山)などのアウトドア。休みの日には子どもと
公園で遊ぶ、よきパパでもあります。ドライブで横浜、鎌倉
や箱根まで足を延ばすこともあるそうです。

たい平師匠の講演会、
楽しんでいただけ
ましたか?



培った経験を糧に、
寄り添うリハビリを
行っています。



自然の空気を
存分に吸って
リフレッシュしています。



休日は娘とサッカー。
体を動かすことが
好きです。



優秀なスタッフがそろっていると自信
を持っています!!
ぜひ訪問リハビリをご依頼ください!

作業療法士
しんば ひろし
榛葉 寛さん

東北人 フジタのつぶやき

お申し込みいただき
まんずまんず! 訳:感謝します!

ご視聴ありがとうございました♪



たまふれあいグループ
Tama Fure Ai Group

たまふれあいクリニック
Tama Fure Ai Clinic

たまふれあい
訪問看護ステーション

たまふれあいの家
Tama Fure Ai Home

たまふれあい
居宅介護支援事業所

たまふれ!
Tama Hurray!

たまふれあいの森
Tama Fure Ai Forest



044-931-0220

〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1763
ライフガーデン向ヶ丘2F

ふれあい通信は、地域相談室のメンバーがつくる「地域とつながる」会報誌です